

刊夕日八十月九

常磐每日新聞

発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社
 社址 福島県郡山市常磐町三丁目
 電話 六三〇
 支店 仙台 盛岡 秋田 山形 宮城 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 徳島 香川 高松 岡山 広島 山口 徳島 香川 高松 岡山 広島 山口

頭取の計算 [上]

長谷川 誠

トーマス・ミットオードは、十年この方、市俄古のペネンシラル銀行に出納係補助として勤めてゐる。

たゞさへ樂な生計ではないのだが、今度六番目の子供が出来ると、嫌でも貧乏が目立つて来たので、たうとう、細君に智慧をつけられて、ともすればたじろぐ臆病な心を勵ましたながら、彼は俸給の昇給方を課長に申し出た。

二三日すると、課長の取計らひで、思ひがけなく銀行の頭取が、トーマスに直々會つてくれることになつた、でトーマスはやつぱり大膽に願ひ出た丈の甲斐があつたと喜びながら、磨きのかゝつた立派な頭取の事務室へ恐る恐る入つて行つた。

彼は、先づ叮嚀にお辭儀をした、そして改めて頭取の顔を見上げると、同じ銀行に勤めてゐながら、一年に二度しか行員に會つてくれないせゐもあるが、頭取の顔が威嚴そのものに感じられた。

的に

「時は金なり沈黙は金なり」と書いてあつた。

頭取は、トーマスに、お世辭にも坐れとはいはなかつた、と「話といふのは何かね、要點だけ聞かう」と頭取が太い聲でいつた。

そこでトーマスは、道々考へて来た。子供が出来て生計が難かしくなつた始終を、テキパキした言葉で率直に話した。

すると頭取がいつた

「君は月給を上げて貰ふことを、課長に頼んで、そして僕の口から何かいせよ、ういふ考へなのだね、鳥渡訊くが、君はさういふ不都合な、いはゞ生意氣な請求を考へてからやつたのかね？」

「……」
 「おい君、餘り甘く見ては困るぢやないか、僕がかうやつて今、忙しい中を君に會つてやるのは、もう何年となく重役會議で、氣の毒だからといふ厚意で、君を取計らつてゐたことを、ハッキリ教へてやらうと思つたからなのだ、君は第一、銀行で少しか働かないでゐるくせに、ちやんと月々の

月給は貰つてゐるぢやないか」
 「……」
 「ま、よく僕の計算するところを、君聞かぬが、實際君はよく今迄、自分でこれをして見なかつたものだと僕は驚いてゐるくらゐだよ、先づ一年を三百六十五日と見るね、尤も閏年があるから、三百六十六日と見てもいいが、その内君は、一體幾日自分で働くとお思つてゐる？君のことだからさつと三分の一は働くといいだらう。



何が悲しうて

黒井 春美

一 月さす窓の邊
 惱める處女子
 野菊の花に口づけて
 一人泣きむせびぬ
 何が悲しうて？

二 もれくる虫の
 鳴く音もいと淋し
 嗚呼秋寂し青き星
 惱め處女泣く
 何が悲しうて？
 三 月見草香る

静けき河原に
 去りし日の青葉の夢を
 追想して泣くか
 が悲しうて？

文具破格特賣

半額、三割引、二割引

白運動靴 五十銭 九半以下
 六十五銭 九七以上

平澤前 マルカ運動具部

電話三十二番

冬の通學服

當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

長ツボン付
 小學生用……・85銭
 同(特製品)……1・90銭
 中學生用……2・80銭



なかや洋服店 平電203

外科 X光線科 性病科 外科

入院隨意

平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

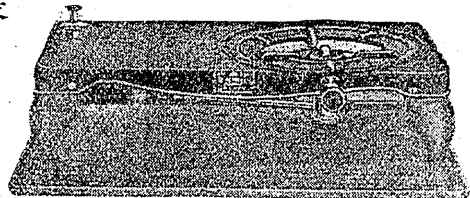
瓦斯や電熱より經濟で便利な變性
 アルコールを燃料とする尖端的の
 特許 自家瓦斯發生器生る

本器の使命

國家的燃料の革命

家庭經濟の合理化

特價金八圓五拾錢



(しな差大と油石段値ルーコルア)

本器の特長

- 一、便利重寶IIガス、電氣のやうに管やコードを要せず、土器鐵器の様に重からず、石油厨爐の様に容積大ならず、持運び自由で體裁良し
- 二、經濟的II「アルコール」を一日「ガス」化して燃える爲め燃焼物の容積を膨大し火力熱量は類なく強大でありますから燃料が少料で安價に煮炊き出来ます時間は瓦斯より早い。
- ◎飯一升五合炊くに要する各種燃料比較實驗表

(昭和六年四月釜屋商店調)

四季の平均(アルミニウム製並二升釜使用)

用途 一般家庭用は勿論左記に利用下されば最も便利と思ひます。旅館、料理業、うどん屋、外一般用工業用
 今回御便宜の爲にねん料アルコールの

ハカリ賣を初めました

◎一升以上 一升ニ付 四十銭

釜屋商店

平町五丁目電話九番 九九番

内科 醫學博士 難波 睦
 一般 電話五〇二番

平町新川端(釜屋新宅向)

病軀を提げて

井上候補の熱叫

此の壇上に倒れても

聴衆諸君にまみえんと

政友井上候補は昨夜六時半から聚樂館に於て推薦演説會を開いたが聴衆は舞臺から樂屋裡まで溢るゝの盛況にて非常な好成績を納めたが大喝采に迎へられて登壇した候補者井上茂作氏は大要左記の如く挨拶した

私は連日各地に於ける轉戦に少々健康を害し主治醫より今日一日だけは休養せよとの注意があつたが満場立錫の餘地なく聴衆者諸君が御來場下さつたとの報に接し此の壇上に倒れて後止むの覺悟を抱き登壇した次第である先刻來各辯士は私が資力乏しき貧乏候補である事を訴へた、事實私は貧乏である、而し貧乏である

晴れの大會に 最初の敵手決る

テニスは安積と相馬
磐女選手の意氣上る

今回の立候補は固く辭退したのであるが周囲の情勢上愚人起てよの聲が高く意を決して出馬するに至つた、前回には戦敗の慘をなめて居る自分である、今回再び此の慘苦を繰り返す事あらば自分の社會的生命は全く絶望に歸するより外はない、どうぞ各位の深甚なる御同情に訴へて御援助を切願して止まない。云々

今日話 の題

米國サンフランシスコのバスケットボールが、至極仲のよい夫婦であつたが、一ついけないことは、細君が夫のキウリ好きなのに對し亭主が大のキウリ嫌ひと來てゐる事であつた。それで最近のある日細君がキウリ料理を造つたのが基でついに家庭争議をひき起し、ついに法廷へ持ち出して裁きを求めたところ、キウリの好き嫌ひが立派な理由となつて離婚が成立して目出度く夫婦別れをした

石川さんへも 寄附がくる

候補者感泣

井上さんへ水莖の跡美はしく金十圓を寄附して下さるとは昨日の事だが今日は石川さん推薦の惱みからやむなく立候補公認された人とて事務所開設と同時に金一百圓を最高に

共濟病院で 廢兵に施藥

石城共濟病院では郡下の廢兵卅七名の中にはその日の糊口にさく窮するものもあるものでこれ等の廢兵者に診療一切を無料とすることに成つた

飯野養鶏組合

石城郡飯野村の養鶏組合では明十九日正午から同村字谷川瀬の藤岡爲記氏宅にて秋期總會を開催本年度同組合の各施行案及び役員改選等を開く筈

平町人事

- 出生
 - △南町六九 富男長女仲井チエ子
 - △四軒町一五 小野ユウ(七八)
 - △材木町九 長瀬シゲ(七七)
 - △田町一〇 石川勉(一ツ)
 - △杉平一九一 (淺野智二ツ)
- 死亡
 - △南町六九 富男長女仲井チエ子

屑蘭整理の講習 申込者意外に多し

各町村講習日決定

石城養蠶組合では農家に於ける屑蘭整理の爲講習會を開催すべく各町村へ参加を勧誘しつゝあつた處時節柄多数農家の申込多く同會では講習日の割當に腐心しつゝあるが今日迄に講習日の決定した町村名は左の如し

- (箕輪村) 九月十三日 十九日
- (永戸村) 九月廿日 十月
- (磐崎) 九月廿九日 十月
- (下小川) 十月一日
- (平窪) 十月五日 十一日
- (草野) 十月十二日 廿五日
- (上遠野) 十月六日 十二日
- (勿來) 十月三日 九日
- (泉) 十月十日 十六日 (飯)
- (十月九日 十五日)

川崎小鳥著「滿洲土産談」

全部出來上りました、出版届、手續中であり、近日中、讀者各位のお手元に差上げます。

調和の美 秋セルを語る

街ゆくレデーは

ブドীর再認識

めぐり來し秋の歡びはブドールへの微笑みに宿るそれはこの秋の街を縦走するキモノのファッションである

そのブドীর表情は平凡を超えた縞である、清澄な空の深みと、七草のやま

セルの感觸——繊細な季節のリズムは街ゆくレデーの容姿美へロマンス風な和

秋の主調はブドীরあり原色から遠い落ちついた色彩が綾どろくろしほ藍、さげを葡萄、しぐれ鼠、承

凡て調和である、女性美の調和はキモノによつて決められる、近代的傾向なる明快な色彩と華やかな文様との交響樂が、調の旋律をよせて彼女たちはこの秋の尖端をゆく

秋の日傘をかたむけて三井あたりのショウウィンドから喚びかける色彩美にしばし見惚れる——そしてこの秋もブドীর再認識を余儀なくする彼女たちである

日曜の秋晴れに 飛ぶよ模型機

大人も小供も…… 一家總出て大騒ぎ 模型飛行競技大會

戀のリンダバーク大佐夫妻は飛石傳ひに日本へ來たし墜落慘死とばかり思つてゐたアレンモイル兩氏が無人島に生きてゐたし今や空へ空へと世界人の感情は高鳴つてゐる、本社後援の第一回郡下模型飛行機競技大會は非常なる

人氣を集め主催のいづみや玩具店から賣り出される材料は不景氣を吹ツとばす賣行を示してゐるが初めは子供たちが模型機を組み立てる中、その父その母まで引きづりこまれて晴れ渡つた日の公園や空地は一家打連れてこれら飛行機の試験飛行で大賑ひを呈してゐるので來る二十日平第

早くも一般から注目されてゐるが當日参加者は午前八時平野前いづみや玩具店前に集まり音楽隊と共に會場へ乗り込むことになつてゐる、當日の役員及係員は左の如く決定した

會長 曾我直治氏
副會長 飯沼林一郎氏
審査長 川崎文治氏
審査員 坂本、山下、志賀、相田、各本社社員
記録係 橋本本社社員
受付係 長谷川正男君
賞品係 大島進君 金成勝村大林各本社社員

友人に裏切られた 哀れな少年ルンペン

北海道行の夢も破れて 旅費を借り乍ら故郷へ

昨夜七時頃平署人事相談所へ一少年が旅費の貸與を願ひ出たので係官が事情を聞くと同少年は茨城縣眞壁郡眞壁町字瑞州久五郎四男大澤周吉(一七)と云ひ昨年十月より東京淺草區

森に着し驟の湯屋に旅の疲れを休め様と周吉が先に這入つた隙を覗ひ久治は周吉の所持金十五圓餘を

つたので周吉は途方に暮れ青森署に願出た爲係官も同情し線路傳ひに次々と各地の警察署より送られて來たもので平署員では植田迄出發せしめた

坑夫雇入れ

需要期に入り 炭界活況の兆

盗んだ奉願帳で 合力を受けた土工

石城郡内郷村大字宮字鬼ヶ澤地内を十七日夜八時頃労働者風の男を巡廻中の駐在巡査が不審に思ひ取調べる

石城郡内郷村大字宮字鬼ヶ澤地内を十七日夜八時頃労働者風の男を巡廻中の駐在巡査が不審に思ひ取調べる

石城郡内郷村大字宮字鬼ヶ澤地内を十七日夜八時頃労働者風の男を巡廻中の駐在巡査が不審に思ひ取調べる

石城郡内郷村大字宮字鬼ヶ澤地内を十七日夜八時頃労働者風の男を巡廻中の駐在巡査が不審に思ひ取調べる

石城郡内郷村大字宮字鬼ヶ澤地内を十七日夜八時頃労働者風の男を巡廻中の駐在巡査が不審に思ひ取調べる

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

た常磐地方各炭礦ではストック一掃と炭價維持の爲め目立たぬ程度にぼつ／＼人員整理を行ふ一方更に出送炭率の増加を圖るべく協議を遂げつゝあつた状態で極力消極政策を採つてゐるが最近需要期に入りつゝある

明日のラジオ

十九日

報豫氣天

今夜も明日も北東の風曇り降つたりやんだりの模様

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)
口笛とハーモニカ口笛獨奏
今野嘉雄ハーモニカ獨奏
齊藤藤一郎「青い眼の人形」他
後六、三〇 英語講座「初等科」(三)岡倉由三郎
後七、三〇 講演「軍の機械化」安田郷輔 福田芳
後八、〇〇 尺八 福田芳 謹外

濱三郡教員

石城郡野球戦開催 教育會主催の濱三郡教員野球大會は二十七日午前八時から平町第一小學校において開催する

第二校運動會

平第一小學校秋季大運動會は來月十四日(水)に同校グラウンドにて開かれるが雨天の際は順延

物見岡稲荷

秋まつり
廿五、六日
平町城山の物見ヶ岡稲荷神社の秋期祭典は廿五、廿六の兩日行はれるが余興として

火薬法違反で 嚴重に取調べらる

採炭場の經營者が時節柄問題視さる

平町仲間町採炭業坂口順治(一〇)は豫てより石城郡内郷村大字白水に採炭場を經營し同所に火薬庫を設置して従業して居たが数日前平署

「私と被服」内藤豊三郎

後二、〇〇 運動競技
後三、〇〇 五但諸道分其他
後六、〇〇(子供の時間)
「うたのおけいこ」(三)佐々木さく

明日の部

後八、三〇 連續物語「双生児の復讐」(四)和氣律小仙外
後九、〇〇 義太夫 竹本ユリス 氣象通報 番組豫告 生蘭相場
後九、一〇 料理献立「鱈の柴燻」山田義次
前一〇、三〇 家庭講座

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

また傳染病の季節

平町材木町義信三男長瀬シゲ(一七)は昨日疫病と判明直に隔離された又堂ノ前の富岡ミヨ(一七)は同日デフテリ

小説 七五三

(三十九)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

小夜更けて (5)
川島を真中にして妙な奴等が三人、洋服を着て小髯を生やした男と、私をなぐりにかゝつた背の低い野郎とがゐりました。ところで變なことに川島が何やら大急ぎで紙片へすら／＼と何か書いて洋服を見せると、につこりした目でそれを讀んでから自分も同じやうに鉛筆で書いて見せる。つまり筆談でえやつてけすね、それから少しつとその背の低い野郎にこそ／＼耳打しますと、承知しましたと、いつたやうな工合で直と室を出さうにしましたから私は素捷く隠れて了ひましたその野郎はドン／＼二階へ上つていくからハ、ア何か命令したんだなと思つて、また覗いて見ると、やはり二人でこそ／＼の筆談でけす、差押へに踏込んで来た奴なら敵だ。その敵と人目を避けての筆談とは實にあの川島こそ訝しいじやござせんか。ねえ。御嬢さま。『え、そらをかしいわね。變ぢやないか。』

千代子の胸には黒い疑惑の雲がひら立つた。『で、私が睨んで置いたのはその紙のカキホゴでけす



ごわす。御嬢様、私と二人であるだけのあのホゴガミをひろい集めて見やうぢやござへんか。』
『然うねえ。』
千代子はじつて考へてから『捜して見ませうか。』
静かに立つていつて父の

容態を見ると依然すや／＼と安らかに何知らずげに睡を續けてゐたので、水囊を取りかへて附添の女中によく注意を與へてから、清作と共に洋館の重役室へ入つた。
室の電燈は消してあつた千代子がスキッチをひねつて點燈する間も待悶かしさうに、清作は机の下から銅網づくりの屑籠を引張り出して、なかに推かく押込んだあつた紙反故の町嚙にのばしては片ツ端からつまみあげ、一つ一つ検めにかゝつた。

櫻木町の驛前から大江橋を渡つて、上町へ入らうといふ途端だつた。自動車は突然バンクして動かなくなつた。運転手の若い男が急いでタイヤを取りかへる間彼女は車から降りて川にうつる灯の花の夜舟の棹に碎けるのをぼんやりと眺めてゐた。
その時櫻木町の方からぶら／＼と歩いて来た二人連れ夫婦らしきのが彼女をの傍をすれ／＼に通り返けた。見るとなく女の面へひよいと目を飛ばした刹那。彼女は思はず
『あら。』
と叫んだ。
その夫婦者らしい人を後ふり返りてふと彼女の顔をぢろりと眺め合ひした。

一方横濱の市中に入るまでのうちに歌治は自動車のなかでいろ／＼のこつと考へさせられた。
それが可なり長い時のひし／＼と胸の琴線を慄はすやうな痛々しい想ひばかりであつた。

毛糸

編物用具

全部新色 二一三
入荷致しました
程の命用御變らず

平田町
ハシモトヤ
糸店

磐城名産

魚問屋

最優最大日本生命平代理店
志賀盛榮
平四丁目 電二三番

配達敏速

井三

手切商品

番八四 三二
電三平

川井内科診療所

専門 内科一般
宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五
電話一八一番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

新案特許

第一三五一一號

小鍛治式極東ムシカマド

◎本品にニセ物有小鍛治式に御注意

製造販賣元
小鍛治商店
三平 電三番

根本眼鏡

正統 本業
各種眼鏡
無料検眼
各眼科院御用